

10 有機農業について

（1）有機農産物に対するイメージ

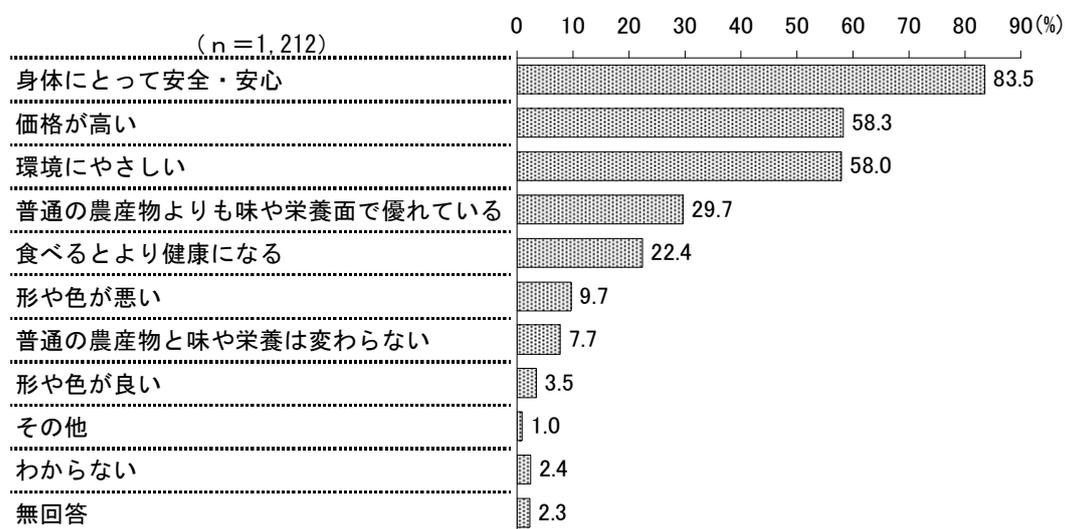
◇「身体にとって安全・安心」が8割台半ば

県では、将来にわたって農業を続けられるよう、環境への負担が少ない有機農業（※）を推進しています。今後の有機農業の推進方法などの参考とするため、有機農業により生産される農産物の、県民の皆さまの購入状況や意識をお聞きいたします。

（※）有機農業とは、化学的に合成された肥料及び農薬を使用しないこと、遺伝子組換え技術を利用しないことを基本として、環境への負担をできるだけ小さくした生産方法で行われる農業を指します。

問38 あなたは、有機農業により生産される農産物に対して、どのようなイメージを持っていますか。（〇はいくつでも）

<図表10-1>有機農産物に対するイメージ（複数回答）



有機農産物に対するイメージを聞いたところ、「身体にとって安全・安心」（83.5%）が8割台半ばで最も高く、以下、「価格が高い」（58.3%）、「環境にやさしい」（58.0%）、「普通の農産物よりも味や栄養面で優れている」（29.7%）、「食べるとより健康になる」（22.4%）が続く。（図表10-1）

【地域別】

地域別にみると、「価格が高い」は“千葉地域”（65.9%）が6割台半ばで高くなっている。「食べるとより健康になる」は“長生地域”（40.0%）が4割、“君津地域”（32.4%）が3割を超えて高くなっている。（図表10-2）

【性・年代別】

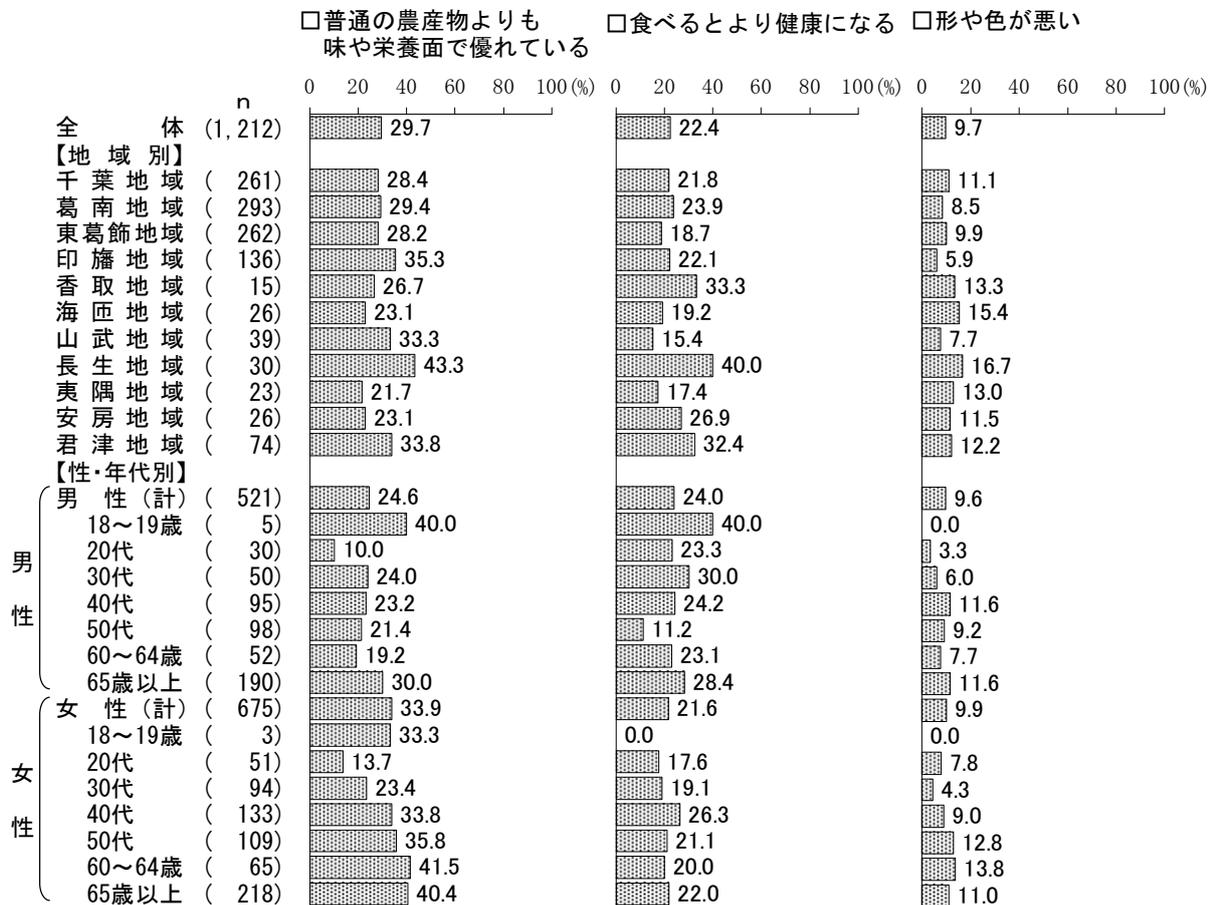
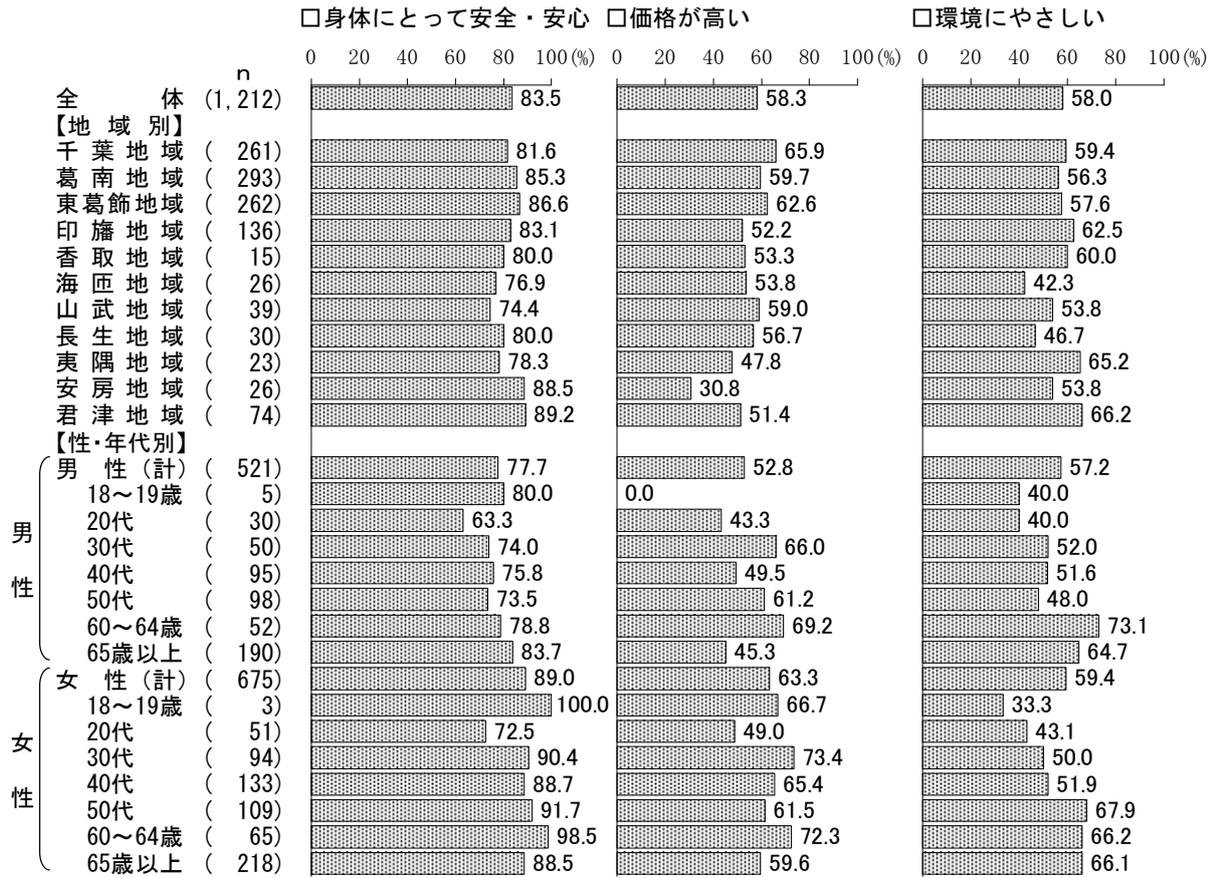
性・年代別にみると、「身体にとって安全・安心」は女性の60～64歳（98.5%）が約10割、女性の50代（91.7%）が9割を超え、女性の65歳以上（88.5%）が約9割で高くなっている。

「価格が高い」は女性の30代（73.4%）、60～64歳（72.3%）が7割を超えて高くなっている。

「環境にやさしい」は男性の60～64歳（73.1%）が7割を超え、女性の50代（67.9%）が約7割、女性の65歳以上（66.1%）が6割台半ばで高くなっている。

「普通の農産物よりも味や栄養面で優れている」は女性の60～64歳（41.5%）が4割を超え、女性の65歳以上（40.4%）が4割で高くなっている。（図表10-2）

<図表10-2>有機農産物に対するイメージ（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）

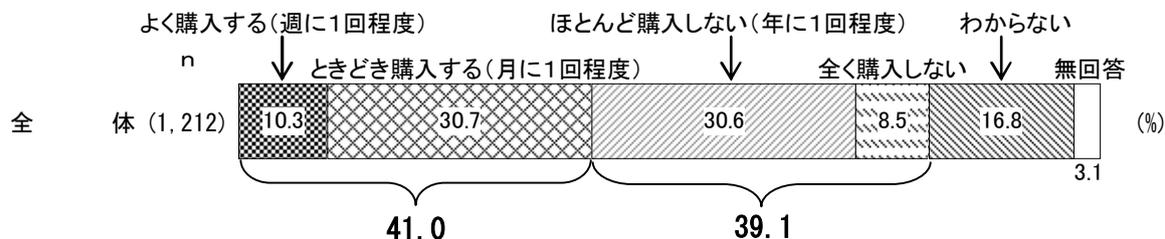


（２）有機農産物購入頻度

◇『購入する（計）』が４割を超える

問39 あなたは、どのくらいの頻度で、有機農業により生産される農産物を購入していますか。
（○は１つ）

＜図表10－3＞有機産物購入頻度



どのくらいの頻度で有機農産物を購入しているか聞いたところ、「よく購入する（週に1回程度）」（10.3%）と「ときどき購入する（月に1回程度）」（30.7%）を合わせた『購入する（計）』（41.0%）が4割を超えている。

一方、「ほとんど購入しない（年に1回程度）」（30.6%）と「全く購入しない」（8.5%）を合わせた『購入しない（計）』（39.1%）が約4割となっている。（図表10－3）

【地域別】

地域別にみると、『購入する（計）』は“印旛地域”（50.0%）が5割で高くなっている。

一方、『購入しない（計）』は“葛南地域”（45.1%）が4割台半ばで高くなっている。

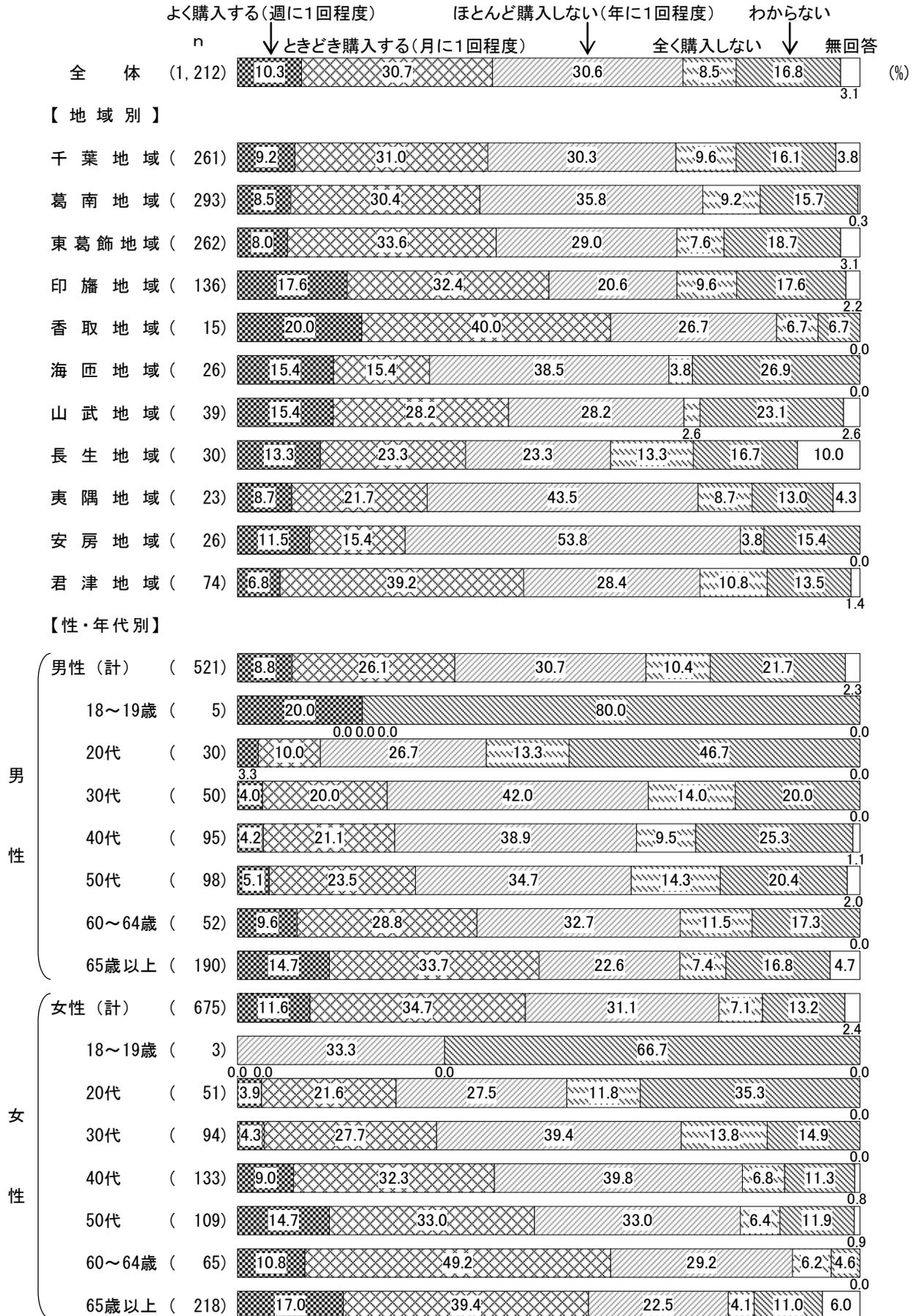
（図表10－4）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『購入する（計）』は女性の60～64歳（60.0%）が6割、女性の65歳以上（56.4%）が5割台半ば、男性の65歳以上（48.4%）が約5割で高くなっている。

一方、『購入しない（計）』は男性の30代（56.0%）が5割台半ば、女性の30代（53.2%）が5割を超え、男性の50代（49.0%）が約5割で高くなっている。（図表10－4）

<図表10-4>有機農産物購入頻度／地域別、性・年代別



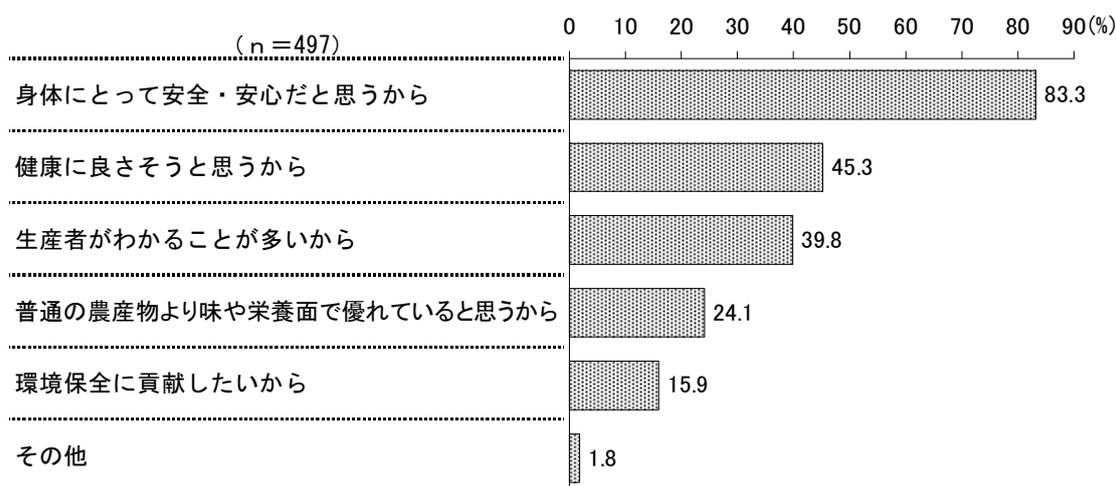
（2－1）有機農産物購入理由

◇「身体にとって安全・安心だと思うから」が8割を超える

（問39で「よく購入する（週に1回程度）」、「ときどき購入する（月に1回程度）」とお答えの方に）
問39－1 あなたが、有機農業により生産される農産物を購入する理由は何ですか。

（○はいくつでも）

＜図表10－5＞有機農産物購入理由（複数回答）



有機農産物を「よく購入する（週に1回程度）」または「ときどき購入する（月に1回程度）」と回答した497人を対象に、その理由を聞いたところ、「身体にとって安全・安心だと思うから」（83.3%）が8割を超えて最も高く、以下、「健康に良さそうと思うから」（45.3%）、「生産者がわかることが多いから」（39.8%）、「普通の農産物より味や栄養面で優れていると思うから」（24.1%）が続く。

（図表10－5）

【地域別】

地域別にみると、「普通の農産物より味や栄養面で優れていると思うから」は“印旛地域”（36.8%）が3割台半ばで高くなっている。（図表10－6）

【性・年代別】

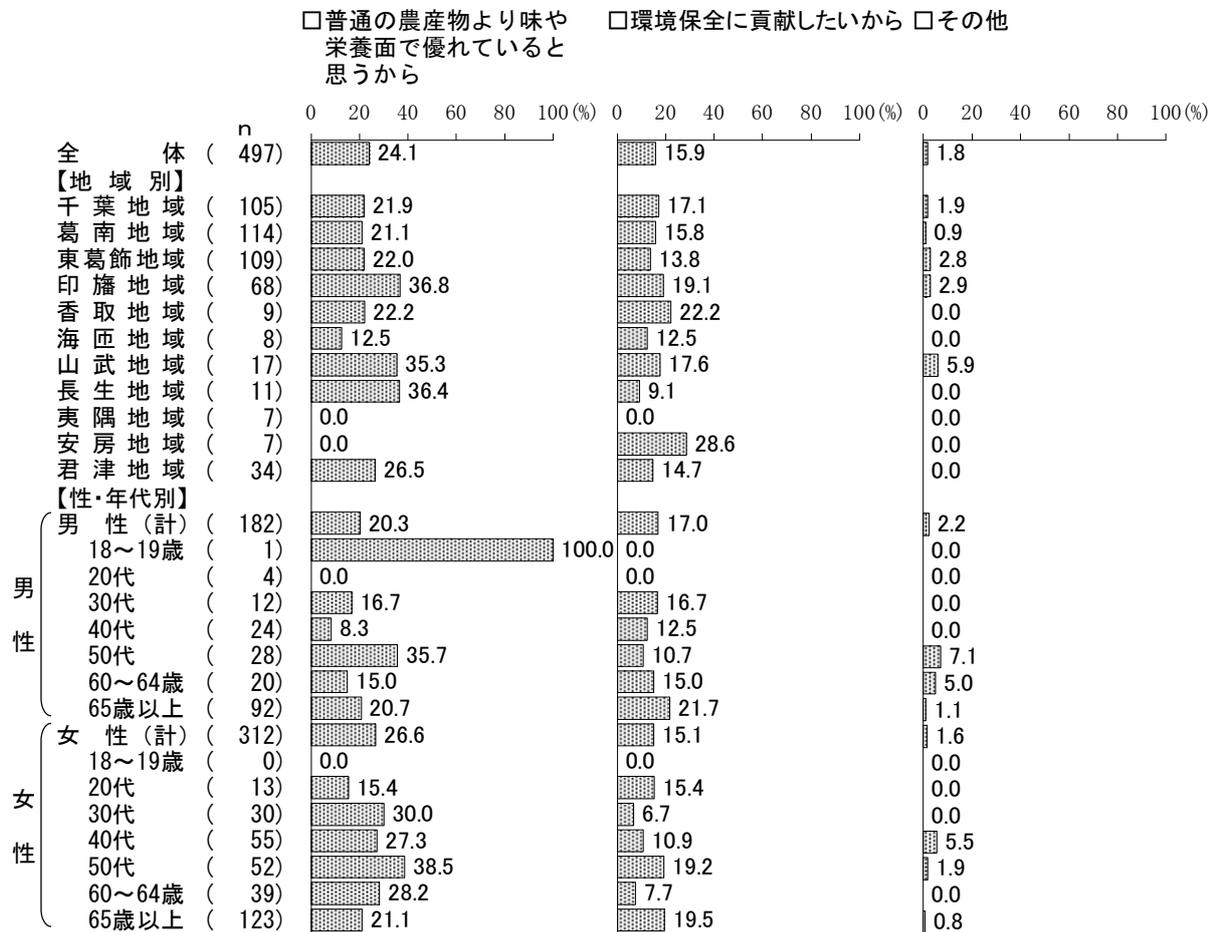
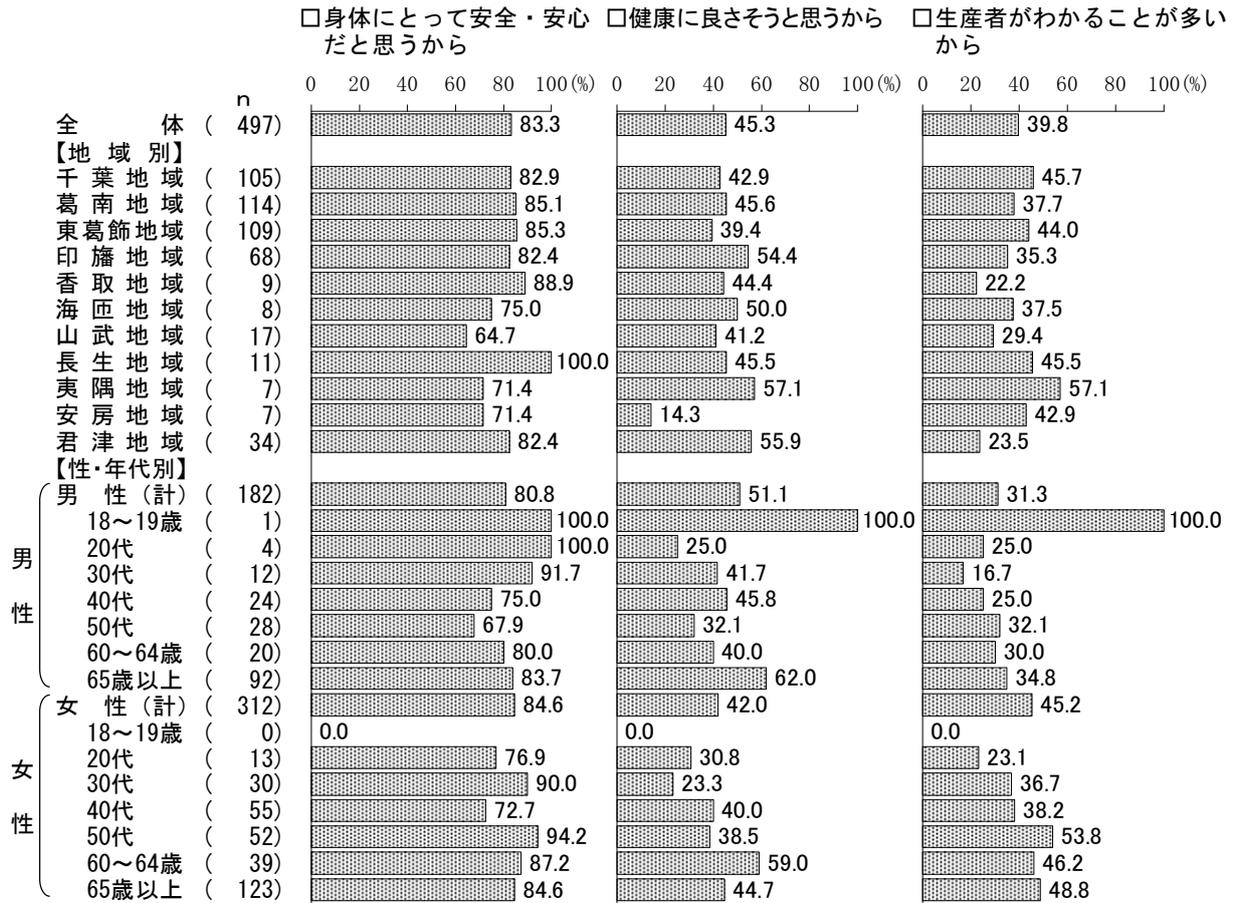
性・年代別にみると、「身体にとって安全・安心だと思うから」は女性の50代（94.2%）が9割台半ばで高くなっている。

「健康に良さそうと思うから」は男性の65歳以上（62.0%）が6割を超えて高くなっている。

「生産者がわかることが多いから」は女性の50代（53.8%）が5割台半ば、女性の65歳以上（48.8%）が約5割で高くなっている。

「普通の農産物より味や栄養面で優れていると思うから」は女性の50代（38.5%）が約4割で高くなっている。（図表10－6）

<図表10-6>有機農産物購入理由（複数回答）／地域別、性・年代別

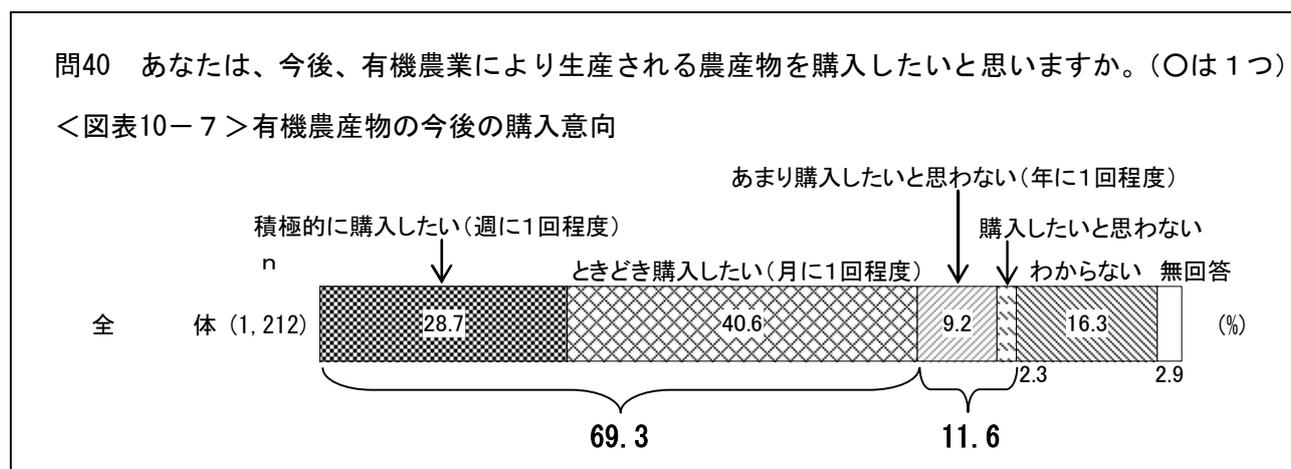


（3）有機農産物の今後の購入意向

◇『購入したい（計）』が約7割

問40 あなたは、今後、有機農業により生産される農産物を購入したいと思いますか。（○は1つ）

<図表10-7>有機農産物の今後の購入意向



今後、有機農産物を購入したいか聞いたところ、「積極的に購入したい(週に1回程度)」(28.7%)と「ときどき購入したい(月に1回程度)」(40.6%)を合わせた『購入したい(計)』(69.3%)が約7割で高くなっている。

一方、「あまり購入したいと思わない(年に1回程度)」(9.2%)と「購入したいと思わない」(2.3%)を合わせた『購入したくない(計)』(11.6%)が1割を超えている。(図表10-7)

【地域別】

地域別にみると、『購入したい(計)』は“安房地域”(92.3%)が9割を超えて高くなっている。(図表10-8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『購入したい(計)』は女性の60～64歳(81.5%)が8割を超え、女性の65歳以上(79.8%)が約8割で高くなっている。(図表10-8)

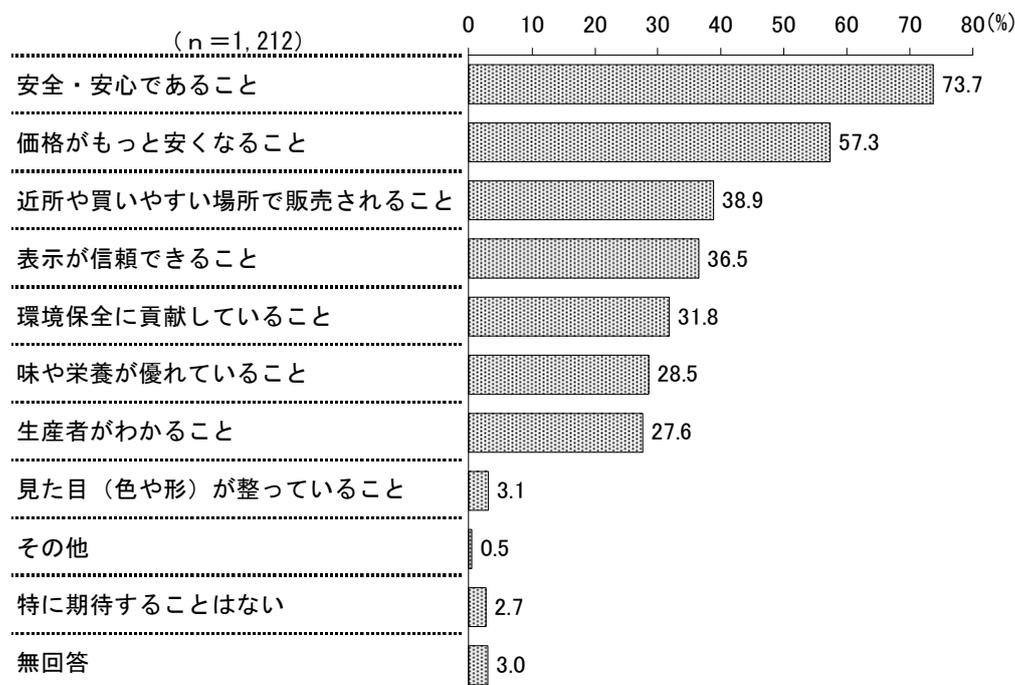
（４）有機農産物に今後期待すること

◇「安全・安心であること」が7割台半ば

問41 あなたは、今後、有機農業により生産される農産物について、何を期待しますか。

（○はいくつでも）

<図表10-9> 有機農産物に今後期待すること（複数回答）



今後、有機農産物について何を期待するか聞いたところ、「安全・安心であること」（73.7%）が7割台半ばで最も高く、以下、「価格がもっと安くなること」（57.3%）、「近所や買いやすい場所で販売されること」（38.9%）、「表示が信頼できること」（36.5%）が続く。（図表10-9）

【地域別】

地域別にみると、「味や栄養が優れていること」は“葛南地域”（33.8%）が3割台半ばで高くなっている。（図表10-10）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「安全・安心であること」は女性の50代（83.5%）が8割台半ばで高くなっている。

「価格がもっと安くなること」は女性の30代（78.7%）が約8割で高くなっている。

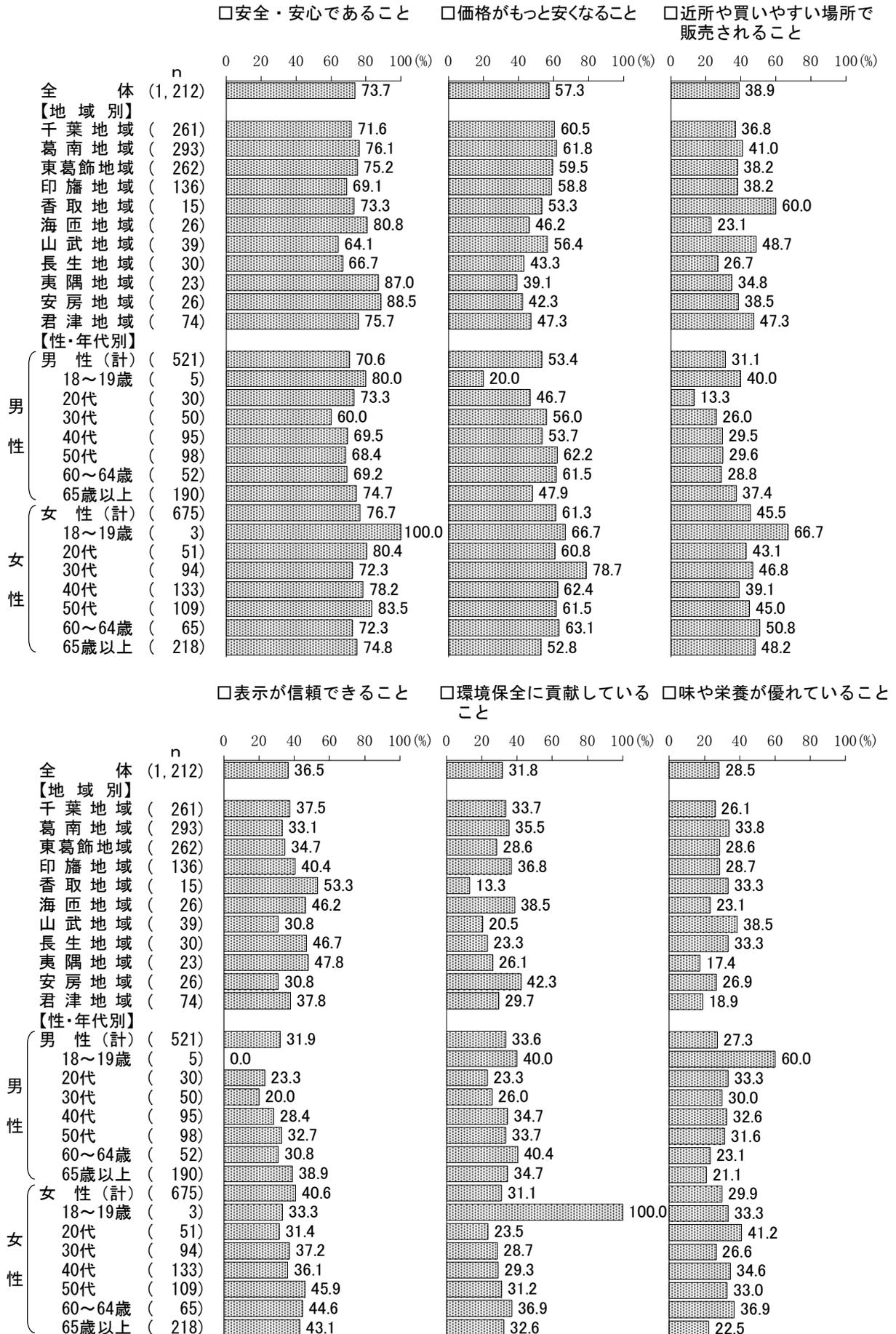
「近所や買いやすい場所で販売されること」は女性の60～64歳（50.8%）が5割、女性の65歳以上（48.2%）が約5割で高くなっている。

「表示が信頼できること」は女性の50代（45.9%）が4割台半ば、女性の65歳以上（43.1%）が4割を超えて高くなっている。

「味や栄養が優れていること」は女性の20代（41.2%）が4割を超えて高くなっている。

（図表10-10）

<図表10-10>有機農産物に今後期待すること（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



このほかに、「有機農業」やここまでの質問（問38～問41）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、90人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「有機農業」の自由回答（抜粋）

○環境にも良く安心安全な有機農業はもっと世の中に広めてほしいです。いろいろな形でもっと宣伝してたくさんの人に理解してもらい、たくさんのお店で買いやすい価格で販売してほしいと思います。学校のイベントや町会の回覧を利用してもしも良いかもしれません。

（女性、50代、東葛飾地域）

○安心して食べられる分、値段が高いことがネックだなと思います。しかし、もう少しPR活動して良さを広めることができれば、買う人も増えると思います。（女性、20代、葛南地域）

○有機野菜＝高価な野菜のイメージが強く、購売意欲が下がる。高価であるマイナスイメージより、環境に対するプラスなイメージがもてるような宣伝も必要だと思う。

（女性、30代、葛南地域）

○身体、環境に良いのは判るが、価格が高く気軽に毎日買う事が出来ない。価格がもっと安くなれば毎日の食事に取り入れる事が出来ると思う。

（女性、50代、葛南地域）

○生産者の方にはがんばってもらいたい。価格が安くなることも大切だけど、つくる人を支えるのも消費者の役割だと思っています。

（女性、40代、東葛飾地域）

○有機野菜等は、生産する人には大変なのに、収入の増加につながらないのは気の毒。生産する人が希望を持って有機農業に取り組めるような支援体制があるといい。

（男性、65歳以上、千葉地域）

○有機農業を実践している所が近くにはない。また、販売している所もないので、普及させる努力はしないといけないのではと思う。

（女性、65歳以上、千葉地域）

○生協を通じて有機農法による農産物を手に入れることができるが、もっと気軽に有機農産物を購入できる店が地域にあるといいと思います。

（女性、60～64歳、葛南地域）

○県内野菜の地産地消を意識して購入している。生産者の顔が見える農作物であれば安心できる。

（男性、20代、千葉地域）

○地元の野菜は購入している。多少割高だが新鮮さが違う。（女性、40代、東葛飾地域）